

發行所 和歌山縣人権部 印刷所 和歌山縣印刷所 定価 六十部

南紀、和歌山市、京阪神短縮

南北縦貫

国道四十一號線の整備

本縣官民大同團結せよ

今回近畿のといわれねばならぬ。かし一日も早く直轄改地方建設局幸いに此の機を逸せず良工事の着手の實現す和歌山工事地方官民大同團結の熱ることを期待してやま々務所の後意を以て中央當局を動ない。

私の課では

(4) 農務課

農村をこうに備えて農村工業、副業、酪農經營、果樹園藝經營など色々あるが其の土地々々での労働力、資源、資金等充分考慮に入れて模範農村經營を指導する。これは現下の食糧増産を輕視してはならない。又今盛に運動展開中の農業協同組合、農業共済組合設立の問題がある一日も早く圓滿に民主的な団体をつくらせて頂きたいと思つて居る。

娛樂も満載の

『移動公民館』の出現

第一回は奥有田方面

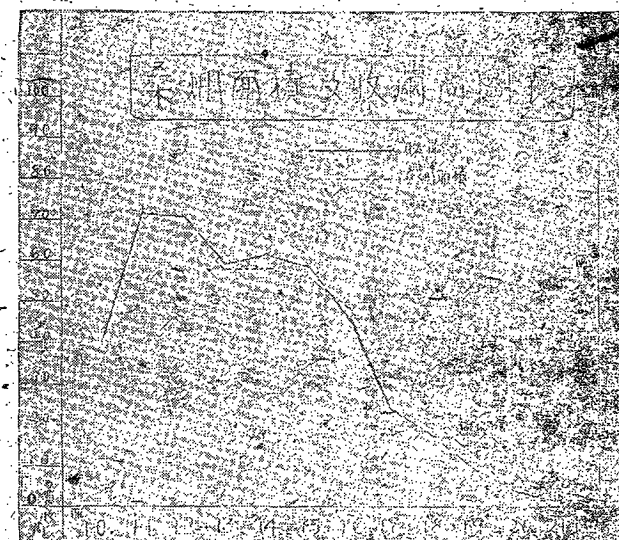
公民館活動は日と共に懇談する。晝間は生徒絶と和歌山市及び京阪神地方との連絡を時間盛大に向いつゝあるが兒童、夜間は一般公開的に短縮し且つ今日ま縣下を眺めて未設置の第一回 奥有田(安部、で願みられなかつた町村も相當あり之が普 八幡、城山、五村、本縣南北縦貫輸送交通 及徹底を圖る爲映畫ポ 岩倉)方面 網開發のため極めて重 三月十六日二十日 要な意義を有するもの地町村を各一ヶ所づつ 第二回 以後は日高、であつて本路線が国道 巡回し、設置の促進、 としての價値も改修に 模範公民館の活動照會 計畫中、尙、希望の よつて始めて大きく 新生活運動の推進、農 向きは直接縣社會教 育課を申込まれたい

新制高等學校の發足にあつて

新日本建設の根幹をなす新學業として、即ち晝間制の實施は六、三の義務教育の普通制の學校(全日制)の外、制に次いで、本年四月から、定時制の學校(夜間制)の學校(新制)高等學校が發足する。これは勤勞の餘暇をさいて、特高を修めれば、卒業出來ることになつた。新制高等學校は勤勞の餘暇をさいて、特高を修めれば、卒業出來ることになつた。新制高等學校は勤勞の餘暇をさいて、特高を修めれば、卒業出來ることになつた。

桑園と繭

不感症になつてゐる桑糸輸出の期待で、繭園と繭高を拾ひ出しの増産を圖らんとする。圖によつて昭和十一年から下降の一途を辿つて、積の狭少な本縣として、原因は今更喋々する。限り山野などの開拓までもなく貿易再開生によるの外はない。



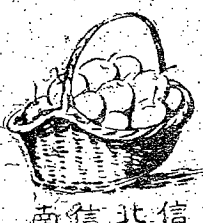
和歌山市二月中 驛頭取締結果

和歌山市内經濟違反の驛頭取締結果は違反件數二、八四四で人員二、八四四の内最も悪質とみて送致されたもの一三名であつて物査左の通り

年次	桑園	繭高
昭和十年	三、七六八	四、八八八
十一年	三、七六八	七、九三三
十二年	三、七六八	七、三三三
十三年	三、七六八	五、六三三
十四年	三、七六八	六、九三三
十五年	三、七六八	六、九三三
十六年	三、七六八	四、八三三
十七年	三、七六八	三、七三三
十八年	三、七六八	二、六三三
十九年	三、七六八	一、五三三
二十年	三、七六八	四、八三三
廿一年	三、七六八	一、五三三

新制小、中學校 教員募集

新教育の建設を目指して、左記要項により廣く人材を募る。



- 1、米 一、四七石
 - 2、麥 三、六四石
 - 3、甘藷 三、四四石
 - 4、其他主食 (四五、三〇貫)
 - 5、蔬菜漬物類 一、四三石
 - 6、水産物 三、二〇貫
 - 7、木炭 一、四〇貫
 - 8、煙草 一、五〇貫
 - 9、纖維類 三、〇〇貫
 - 10、焼酎酒 七、〇〇貫
 - 11、飴類 一、三〇貫
- 意欲に燃え上つてゐる

答、我々が頼みに思ふのはこんな青少年達だ。實際一頼む。本當に頼む。心から手を合せたくなる。▲學歴や免状などという様な古臭い形式や觀念にこだわることなく、卓然として自己の個性を確立し、不斷の努力によつて、培った眞の實力によつて、美しい平和と自由の極樂境をこの日本の國土の上に建設して貰いたい。▲新しく學歴を築立つ我等の青少年諸君に對し敢て婆心を寄せて餞とする。(M)

向井縣會副議長 宮本縣議相次いで急逝

本縣議會副議長向井隆氏の經濟的手腕は今後
壽氏(西牟婁郡江住村)の縣議會にその活躍を
見老津五十八才)は三期待されていた折であ
月一日午後十一時急逝し向井、宮本兩氏の重
された同氏は縣會副議長を失つたことは縣議
長として熱誠事に當り會にとつても又兩氏の
その旺盛なる責任感と所屬する民主クラブに
人格識見の高さは各方面にても影響多大であ
面より痛惜されておられる
本縣政界にとつても損
失が大きい
向井氏逝去の悲報に
ついで三月十日午後十
時
縣議員宮本熊吉氏
(有田郡箕島町五十七
才)も和歌山ホテルに
て心臓麻痺のため急逝
されたことは痛惜に堪
えない。

一部悪質 農家に断!!

昭和二十二年産米甘藷
の供出は農家の皆さん
始め食糧調整委員實行
才)も和歌山ホテルに
て心臓麻痺のため急逝
されたことは痛惜に堪
えない。



▲本紙は縣民皆様の新聞です
▲論文、隨筆、意見等如何なるも
のをも歡迎致します
▲住所氏名職業明記、紙上匿名自
由

施業案とは

私は紀南の一森林業者聞紙上にて結構です
ですが近頃民有林施業
案といふことが言ひ出
されてきました。が、
参考迄に一應御説明願
えませんか。
御解答下さるならば新

縣和歌山として同慶に
堪えない
ところが未端において
は未だ供出を完了しな
い農家が一部残存する
のは實に遺憾であり將
來に與える影響大であ
つて正直な者が迷惑を
するので近く一部悪質
農家に断固たる處置を
講ずる
尙これら農家の各都市
別は左の通り

新宮市	三六名
甘藷	
四、二六五、五貫	
那賀郡	二名
米	
五石一斗八升七合	
日高郡	一〇名
米	
六石五斗二升七合	

労働法 の大衆化!!

△労働法特に労働組合
法の趣旨徹底活動
労働法規の趣旨特に
労働組合の必要性に
ついての認識を深め
るため、三月下旬か
各地方を巡回して討
論會講演會幻燈パン
フレットの配布等の
方法により労働法に
使用者側に強力に
呼びかける
未組織労働者への働
きかけをも重視する
△労働問題講演會の開
催
四月早々産別總同盟
の幹部を招いてそれ
の現状と運動の方
針を聞く催しを計畫
して開催地を決定
して和歌山市であつて
は和歌山山地協と共
協と共催の豫定

地方課えうつる 消防事務

警察法施行に伴い、消
防事務は警察の手から
全く離れ、縣廳内では
地方課がその事務を受
けつぐことになった。
そのために去る三月七
日附で、縣廳務規程の
一部が改正され、地方
課の分掌事項中に、追
加されることになった

★輸入 衣料配給★

輸入衣料品である折袴
上衣(毛サージ)二、七
〇〇点を小賣價格六四
六圓四七錢で引揚者用
として各都市に近く配
給することになった

第二回和歌山縣復興寶籤發行要領

發行の趣旨
新制中學校設備助成費
縣營復興住宅の建設
新制中學校の設備充實助成並びに戦災復
興事業の遂行は重大にして喫緊を要する
が本縣財政事情の現状より他に財源を求
め難いので寶籤の發行により資金の調達
をなし以て本事業の促進を期せんとす
發行總額 第二回和歌山縣復興寶籤
金一五、〇〇〇、〇〇〇圓

四、條 件
(一) 券面金額及賣出價格
金三〇圓(五〇萬通)開封式
(二) 賣出期間
自昭和二十三年四月一日一ヶ月
至昭和二十三年四月末日
(三) 抽籤期日 昭和二十三年五月五日
(ホ) 當籤金、景品支拂開始日
昭和二十三年五月八日
(ハ) 條件 (五〇萬通五組に對し)

等級	品目	數量	單價	支拂手續料	計金額	支拂手續料	計金額	備考
特等	自轉車	一合	五〇〇、〇〇〇	一〇	五〇〇、〇〇〇	五〇〇	五〇〇、五〇〇	右殘念賞
一等	脊廣服三揃一組	一合	一〇〇、〇〇〇	一〇	一〇〇、〇〇〇	一〇〇	一〇〇、一〇〇	
二等	リヤカー一台	一合	一〇、〇〇〇	一〇	一〇、〇〇〇	一〇	一〇、〇一〇	
三等	自轉車一台	一合	五、〇〇〇	一〇	五、〇〇〇	一〇	五、〇一〇	
四等	洋傘	一本	五、〇〇〇	一〇	五、〇〇〇	一〇	五、〇一〇	
五等	靴下	一足	二、五〇〇	一〇	二、五〇〇	一〇	二、五一〇	
計					四九〇、〇〇〇	五、〇〇〇	四九五、〇〇〇	

等級	品目	數量	單價	支拂手續料	計金額	支拂手續料	計金額
一等	自轉車	一合	五〇〇、〇〇〇	一〇	五〇〇、〇〇〇	一〇	五〇〇、〇一〇
二等	脊廣服三揃一組	一合	一〇〇、〇〇〇	一〇	一〇〇、〇〇〇	一〇	一〇〇、〇一〇
三等	リヤカー一台	一合	一〇、〇〇〇	一〇	一〇、〇〇〇	一〇	一〇、〇一〇
四等	自轉車一台	一合	五、〇〇〇	一〇	五、〇〇〇	一〇	五、〇一〇
五等	洋傘	一本	五、〇〇〇	一〇	五、〇〇〇	一〇	五、〇一〇
六等	靴下	一足	二、五〇〇	一〇	二、五〇〇	一〇	二、五一〇
計					六九〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	七五〇、〇〇〇

獎金 景品を通じての當籤五四、二%
收入豫定計算書
收入 金一五、〇〇〇、〇〇〇圓
支出 八、七二二、七二五圓
内訳
六〇〇、〇〇〇圓 發行者經費
七五〇、〇〇〇圓 賣捌手續料
九〇〇、〇〇〇圓 獎金
五二、九〇〇圓 獎金支拂手續料
六九九、八二五圓 景品代

六、賣捌方法の概要
日本勸業銀行和歌山支店並に新宮支店が
賣捌に當るものとするもこの委託により
縣下市町村役場金融機關においても夫々
賣捌を爲すものとする賣捌については強
制に涉らざる様に特に縣において指導す
るものとする